

平成21年度当初予算のポイント

1 予算編成方針

四日市港がめざす姿である「地域に貢献する、なくてはならない存在としての港湾」の実現に向けて、「四日市港政策推進プラン」を着実に推進することを基本方針とし、厳しい財政状況等を踏まえ、限られた経営資源のもと、「選択と集中」を一層進め、重点化と効率化に努めることとして編成を行いました。

2 予算全体の姿

(1) 予算規模

(単位：千円、%)

区 分	20年度当初予算	21年度当初予算	増 減 額	伸び率
一 般 会 計	6,109,683	6,093,480	16,203	0.3
(県市負担金)	(3,707,801)	(3,598,812)	(108,989)	(2.9)
港湾整備事業特別会計	2,927,328	4,056,092	1,128,764	38.6
合 計	9,037,011	10,149,572	1,112,561	12.3

(2) 建設事業費

(単位：千円、%)

区 分	20年度当初予算	21年度当初予算	増 減 額	伸び率	
一 般 会 計	国直轄事業	650,000	850,000	200,000	30.8
	国補事業	1,119,000	978,000	141,000	12.6
	単独事業	34,000	50,000	16,000	47.1
	計	1,803,000	1,878,000	75,000	4.2
港湾整備事業特別会計	424,000	1,656,000	1,232,000	290.6	
合 計	2,227,000	3,534,000	1,307,000	58.7	

(3) 公債費

義務的な経費であり、歳出のなかで大きな割合を占める公債費は、一般会計が2,850,601千円(対前年度当初予算比1.3%増)、特別会計が1,688,846千円(対前年度当初予算比9.5%減)となっています。

3 主たる事業の概要

(1) スーパー中核港湾プロジェクトの推進

スーパー中核港湾としての港づくりを推進し、国際港湾競争力の強化を図るため、霞ヶ浦北ふ頭80号岸壁背後地の整備(12億円)及び霞4号幹線等の整備(国直轄事業負担金8億5,000万円)等に引き続き取り組みます。

(2) 港湾経営基盤の整備等 (一部新規)

港湾ユーザー等が安心して港湾活動を行うことができる環境づくりを進めるため、第1航路・泊地の浚渫(3億8,600万円)や15号岸壁の液状化対策(1億5,600万円)、さらには上屋の補強計画の策定(4,000万円)や千歳運河物揚場の修景に配慮した石積補修(1,000万円)等に引き続き取り組みます。

また、港湾施設について、従来の事後保全的な維持管理から、予防保全的な維持管理に転換するための取組(1,000万円)を進めます。

(3) 北米等基幹航路の維持安定化と集荷拡大 (一部新規)

「北米等基幹航路維持安定化支援事業」(4,000万円)を新たに構築して、北米航路の維持安定化を図るとともに、CO2削減に取り組む民間事業者を支援する「グリーン物流促進補助制度」(2,000万円)を継続して荷主企業のニーズを捉えた環境貢献サービスを提供します。

また、四日市港の利便性や優位性等をPRし、国内外で効果的なポートセールスを展開します。

(4) 災害対策の推進

地震・高潮・津波などから背後地の県民・市民の生命や財産を守るため、富田港地区及び富洲原港地区の護岸補強(4億3,000万円)に引き続き取り組むとともに、大協地区及び午起地区において護岸など海岸保全施設の耐震調査(3,000万円)を実施します。

(5) 親しまれる港づくりの推進等

多様な主体と連携して「四日市みなと講座」を開催するなど、もっと港のことを知り、港とふれあう機会を提供します(1,548万6千円)。

また、地域住民の水質浄化活動と連携して、阿瀬知川河口部の汚泥を除去する(2,000万円)など、良好な港湾環境の維持に努めます。

4 政策推進プランの実現に向けて

(別紙「四日市港政策推進プラン(2007~2010)にかかる平成21年度当初予算主要事業一覧」参照)